

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

与謝野町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目							
広域連携事業支援	業務改革	丹後地域魅力発信事業							
事業着手前									
課題・現状	長引く不況の影響の中、当町を含めた丹後地域においては地場産業・観光産業の活性化が課題となっており、都市部などで地域の魅力・情報発信を行うためには、単体の市町村を単位とするのではなく、広域を単位とした事業実施や発信が必要となっている。								
事業概要	京丹後市、宮津市、与謝野町や丹後地域各団体が連携して、丹後地域の魅力を大消費地において発信することを目的に、京都市堀川商店街にアンテナショップ「ホッと丹後」を運営し、丹後地域の観光情報の発信や製品のPRを行う。								
期待される事業効果等	丹後地域の魅力を広域的に連携して発信することで、それぞれの魅力がまとまりを持って、相乗効果的に発信できるとともに、コスト面等においても効果的に事業実施を行うことができる。								
事業実績									
取組状況	京丹後市、宮津市、与謝野町が連携して、丹後地域の魅力を大消費地において発信することを目的に、京都市堀川商店街にアンテナショップ「ホッと丹後」を運営し、丹後地域の観光情報の発信や製品のPRを行う。 丹後地域の各市町が連携して取り組むことにより情報発信機能が強化され、丹後地方の魅力をより効果的にPRすることができ、コスト面においても効果が期待できる。								
主な実績数値 (出来高数値等)	与謝野町負担金 300千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)					丹後地域の魅力発信は市町単体ではなかなか効果が得られるものではなく、丹後地域が協力してPRを行うことにより都市部の消費者にも魅力が理解されやすい。知名度向上や販路拡大にはまだ時間を要すると思うが、引き続き近隣市町と連携して取り組んでいきたい。		
計画数値の内容									
計画数値の内容	京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金(千円) 都市部でPR活動のために店舗運営を直営で行った場合の想定事業費と比較								
年度	H23	H24	H25	H26	H27				
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	5,900	5,900	5,100	5,100	5,100				
本事業の実績額(b)	300	300	300	300	300				
行革効果(a)-(b)	5,600	5,600	4,800	4,800	4,800				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。